

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地 歴 日本史A	第2学年	2	新日本史A (実教出版)	写真資料館 日本史のアーカイブ (とうほう)
科目の概要と目標	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。			
単元	学習内容	到達度目標		
近代国家と社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> 東アジア国際環境の変化と開国 政治秩序の崩壊 明治維新と革新政策 対外関係の変革と内乱の終結 立憲政治をめざして 憲法制定と議会の開設 東アジアの国際環境条約改正問題 清国との戦い ロシアとの戦い 日露戦争後の国際関係と日本 	<ul style="list-style-type: none"> 開国に至る経緯と、幕府の対応について理解する。 開国以後の情勢について、幕府が崩壊した一連の流れを理解する。 廃藩置県や封建的身分制度の撤廃など、明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。 初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正、一方、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを理解する。 明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る一連の動きを理解する。 明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢の推移が密接に関係し、進められたことを理解する。 日清・日露戦争のおこった原因とその結果について理解する。 日清・日露戦争を経て、アジア諸国に対して日本が勢力の拡張を行ったことを理解する。 		
近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	<ul style="list-style-type: none"> 第1次世界大戦と日本の外交 デモクラシーの高まりと政党 国際協調と軍縮の進展 昭和恐慌 協調外交の行きづまり 満州事変から国際的孤立へ 軍部の政治的台頭 中国との戦い 第二次世界大戦と世界秩序 太平洋戦争・日本の敗北 	<ul style="list-style-type: none"> 政党政治の成立と、背景にあったデモクラシーの風潮の高まりについて理解する。 第一次世界大戦が、日本に与えた経済的な影響について理解する。 国内的な慢性的な不況と、国際的な世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について把握し、日本および各国が、このような状況をどのように克服していったのかを理解する。 軍部の台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について理解する。 太平洋戦争に至る過程を理解する。 太平洋戦争に至る過程のなかで、国民生活はどのように変化したのかを理解する。 日本がアジア諸国に対して与えた影響について理解する。 		
現代の日本と社会	<ul style="list-style-type: none"> 民主化から経済復興へ 冷戦と日米安保体制 グローバリゼーションの時代 	<ul style="list-style-type: none"> GHQによる占領政策と日本の民主化の過程を理解する。 復興期、高度経済成長期、経済安政成長期の日本と日本人の様子を理解する。 バブル経済とそこからつながる現在の日本について理解する。 冷戦下、冷戦後の日本の国際的立場について理解する。 政治や経済のグローバル化について理解し、国際平和の維持に関する日本の対応のあり方について考える。 		